

# 関西経済レポート(2022年1月)

2022年1月27日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(大阪)

## 概況・生産

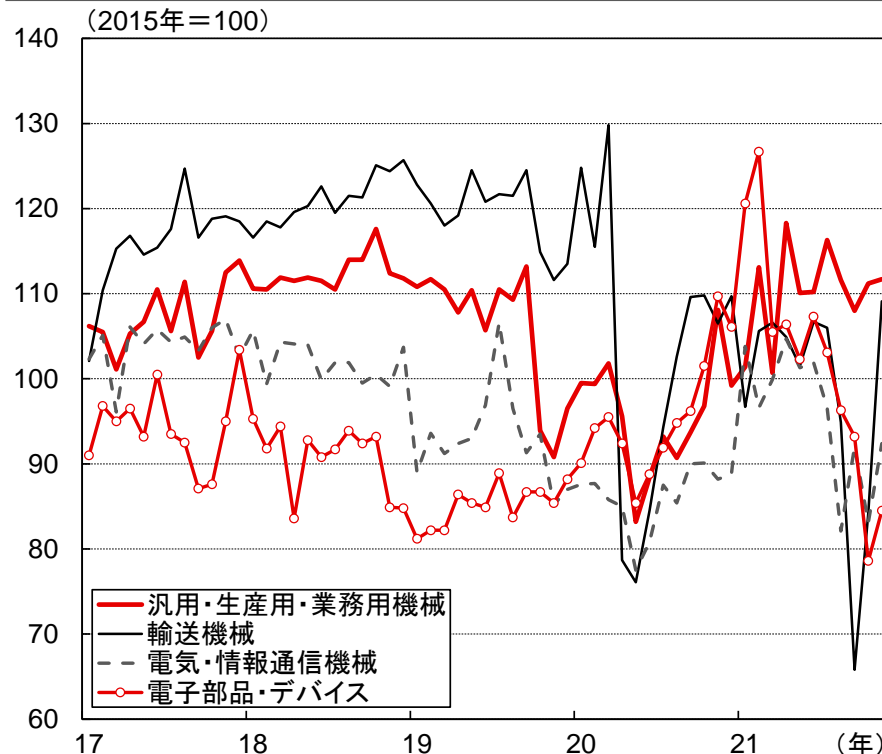
- 関西経済は総じて持ち直し基調にあるが、足元では感染第6波により大阪府、兵庫県、京都府にまん延防止等重点措置が発令されるなど、先行きの不確実性が高まっている。
- 足踏み状態にある鋳工業生産については、半導体不足の解消には暫く時間を要するとみられるが、東南アジアからの部品供給制約は緩和してきており、今後は徐々に回復基調に復する見通し。
- 昨年11月の鋳工業生産指数は前月比+3.3%と5ヵ月ぶりに上昇。業種別では、汎用・生産用・業務用機械が同+0.4%と上昇が続いたほか、電気・情報通信機械が前月比+11.2%、電子部品・デバイスが同+7.5%とそれぞれ前月の下落から上昇に転じた。また、輸送機械は同+29.6%と前月に続き大幅な上昇。

鋳工業生産指数



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

鋳工業生産指数(業種別、関西)



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 景況感

- 日銀短観の昨年12月調査における業況判断DIは+6%ポイントと6四半期連続で改善し、2019年12月調査以来ぶりのプラス圏に。
- 景気ウォッチャー調査の12月の現状判断DIは54.2、前月比+0.1ポイントと、調査回答時点(～12月末)における感染拡大状況の落ち着き等を受け、4ヵ月連続で改善。

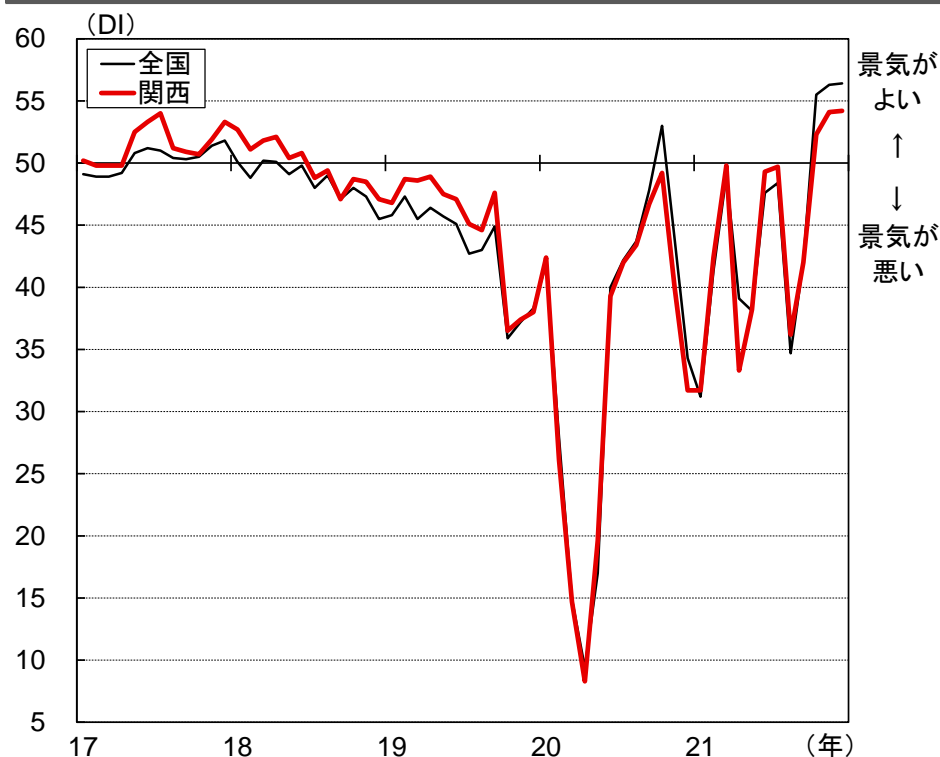
日銀短観(業況判断DI)



(注) 全産業・全規模ベース

(資料) 日本銀行大阪支店統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)

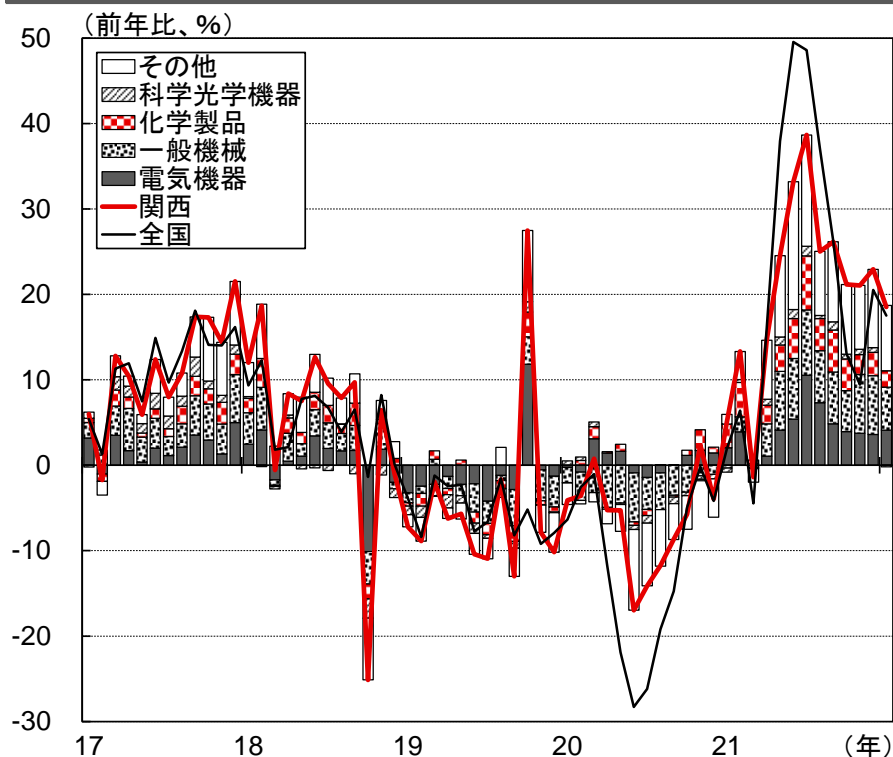


(資料) 内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 輸出・設備投資

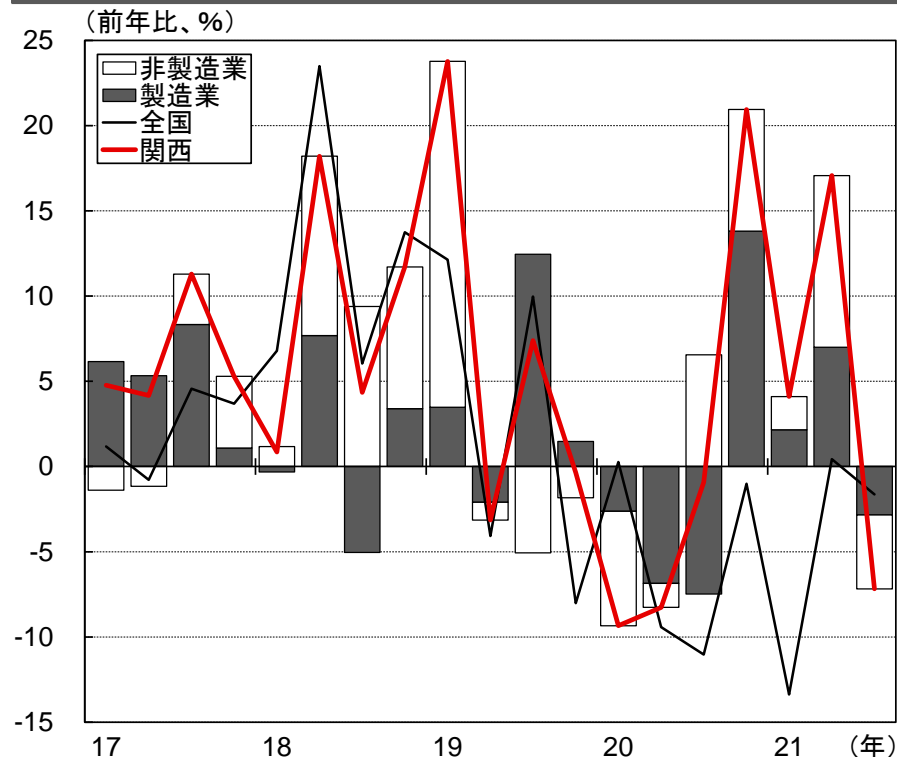
- 昨年12月の輸出額(円ベース)は前年比+18.5%と10カ月連続で二桁の増加、コロナ禍前同月(2019年12月)を+24.6%上回る水準。品目別では、鉄鋼(同+57.9%)や一般機械(同+23.6%)、電気機器(同+13.7%)が引き続き好調。仕向け地別では、最大シェアを占めるアジア向けの拡大が最も大きく寄与。
- 7-9月期の設備投資額(資本金10億円以上の大企業、含むソフトウェア)は前年比▲7.2%と4四半期ぶりに減少。このうち、製造業は同▲6.0%、非製造業は同▲8.2%とともに減少。

輸出額(関西)



(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資額(大企業、関西)

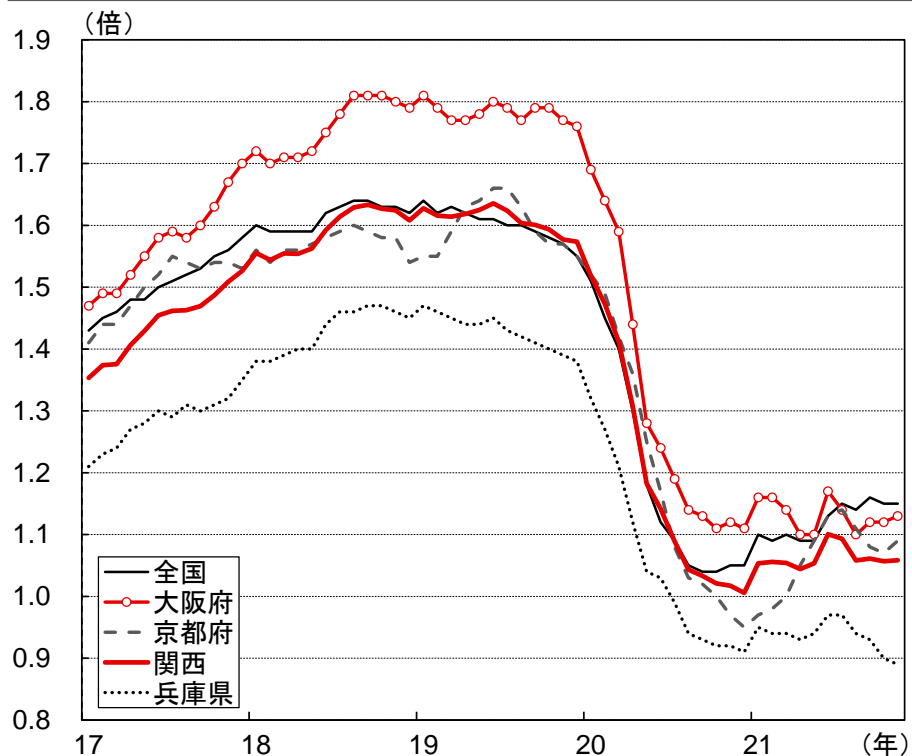


(注)資本金10億円以上、含むソフトウェア  
 (資料)近畿財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 雇用・個人消費

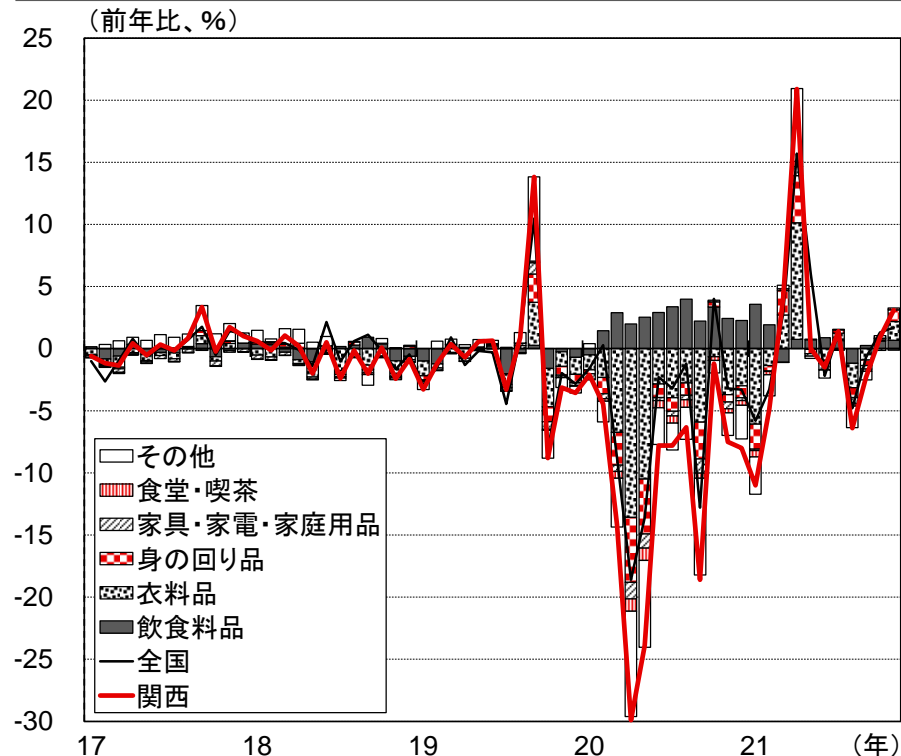
- 昨年11月の有効求人倍率は1.06倍と前月から横ばい。雇用市場におけるウェイトの大きい大阪府は1.13倍、同+0.01ポイントとなり、2ヵ月ぶりに上昇。
- 11月の百貨店・スーパー販売額は前年比+3.1%と2ヵ月連続で増加。業態別では、スーパーが同▲0.3%と減少した一方、人出の持ち直しを受け百貨店は同+9.2%と増加。品目別では、家具・家電・家庭用品は僅かにマイナスとなった一方、飲食料品や衣料品、身の回り品、食堂・喫茶が、前月に続きそれぞれ増加。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

百貨店・スーパー販売額(関西)



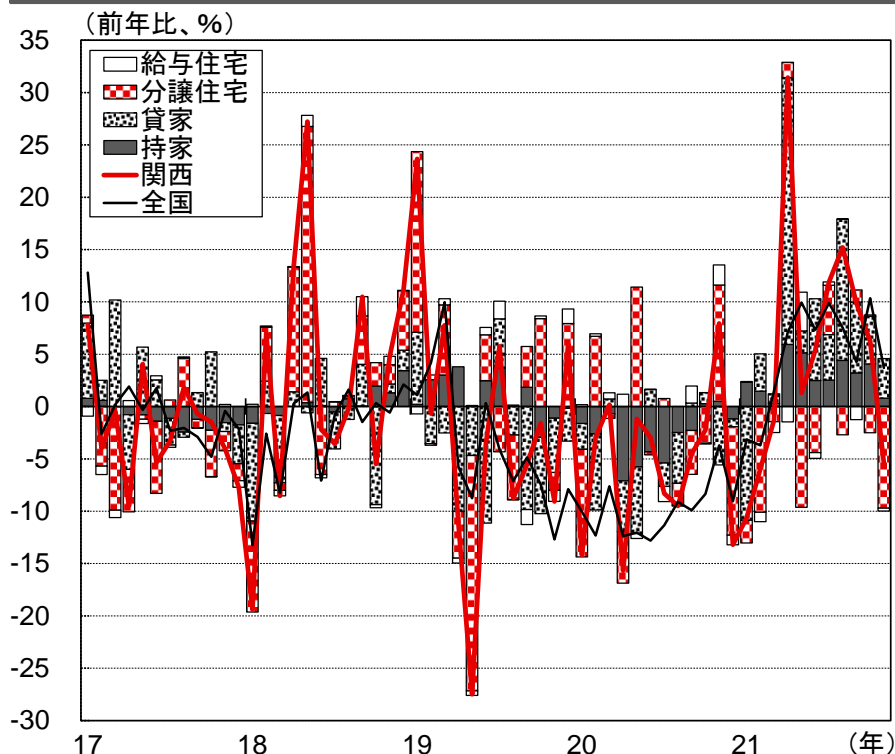
(注)「関西」は福井を含む2府5県

(資料)近畿経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 住宅投資・マンション販売

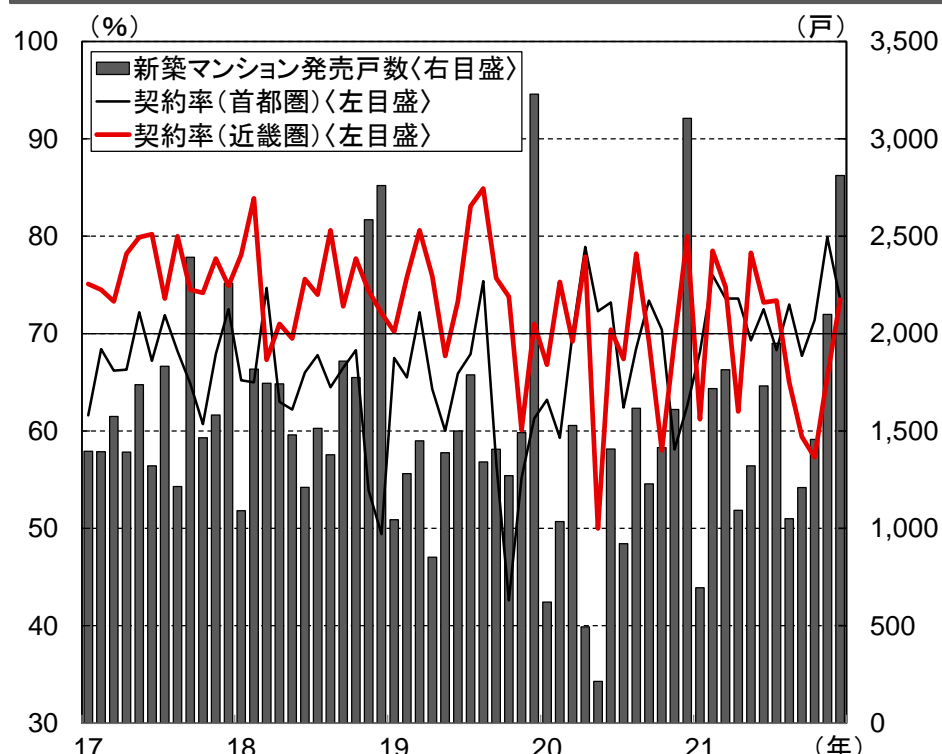
- 昨年11月の新設住宅着工戸数は前年比▲5.4%と8カ月ぶりに減少。用途別では、持家(同+3.1%)や貸家(同+11.5%)は増加が継続も、分譲住宅が同▲24.9%とマンションを中心に減少。
- 12月の新築マンション発売戸数は前年比▲9.4%と3カ月ぶりに減少。他方、契約率は、73.5%と5カ月ぶりに好不調の目安となる70%を上回った。コロナ禍の下で郊外マンションを探す動きがみられるほか、都市部の投資用マンションが好調。

新設住宅着工戸数(関西)



(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新築マンション発売戸数と契約率(関西)

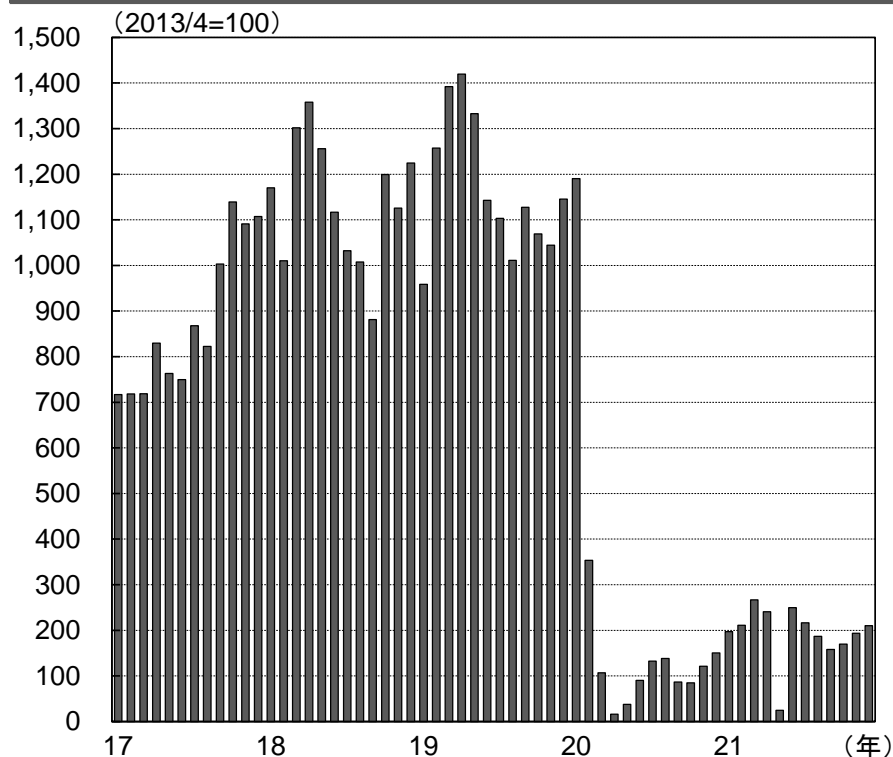


(資料)不動産経済研究所統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 百貨店免税売上高・外国人入国者数

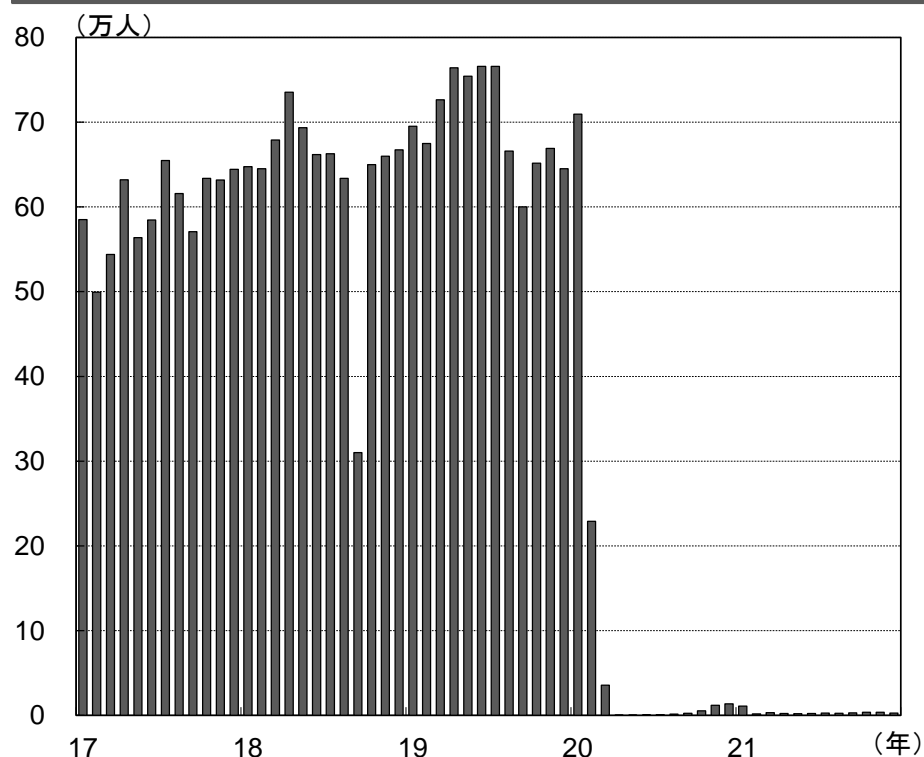
- 昨年12月の百貨店免税売上高は、コロナ禍の影響を強く受けていた前年比では+39.9%と大幅に増加も、水準はコロナ禍前と比べ極めて低い状態が継続。
- 関西国際空港の12月の外国人入国者数は前年比▲79.8%と3カ月連続で減少。水準も、コロナ禍に伴う入国制限措置により、極めて低位で推移。

百貨店免税売上高(関西)



(注)「関西」は大阪、京都、神戸の百貨店における消費税免税物品の購入額  
 (資料)日本銀行大阪支店及び日本百貨店協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

外国人入国者数(関西国際空港)



(資料)法務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。



会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒541-8530 大阪市中央区伏見町3-5-6

照会先：土屋 祐真      e-mail : yuma\_tsuchiya@mufg.jp